

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」センター南校		
○保護者評価実施期間	2025年11月15日		2025年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2025年11月15日		2025年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援と訪問支援から包括的にご利用者様をサポートいたします。	訪問支援で見つけた課題に対して児童発達支援でアプローチしたり、児童発達支援で取り組んだ課題について訪問先の様子を確認したり、課題の調整や支援の見直しに役立てております。	実践、検証、改善を繰り返し、よりよい支援を行えるよう体制を整えております。
2	個別療育を中心としておりますが、小集団療育も充実させて、多面的にお子さんの支援を行っております。	個別療育で対応力を高めながら、集団療育にて段階的により日常に近い環境の支援を提供しております。	ご利用者様の様々なニーズにお応えできるように、体制の構築やスケジュール調整を行ってまいります。
3	早期療育に力を入れております。	未就園のお子様にもご利用いただき、できることが増えたり、支援の様子をご覧頂くなどして、お子様の発達を実感いただける機会を設けております。	広く弊所の取り組みを周知いただけるように、周知活動を行ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご利用の希望が多く、ご利用をお待ちいただいている方もいらっしゃいます。	多機能の事業所となっているため、多くのご利用希望にお応えできない状況がございます。	定員いっぱいまでご利用いただいておりますので、定員数の変更や事業所の増設なども検討してまいります。
2	地域に広く認知いただきつつありますが、より多くの方に認知いただき、より地域に根差した運営をしてみたいと考えております。	SNSなどでの周知活動を強化して、当事業所について広く知って頂けるよう努力いたします。	様々な関係先に出向き、周知活動を行ってみたいと考えております。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日

2026年2月15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」センター南校

利用児童数

17

回収数 :

16

	チェック項目	はい	どちらともいえない		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	いいえ			
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	0	1		届け出通りの職員を配置しておりますが、ご満足いただけるよう適切な人員配置を心がけます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	0	1		建物入口に段差がございます。お子様の特性に合わせた空間設計を心がけておりますが、適時見直して最適な空間づくりを心がけます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	0		清潔でより心地よい環境でお過ごしいただけるよう心がけます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	1		専門性を高めるべく定期的に研修等を受講しておりますが、さらにお役に立てるよう努力してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	2		ホームページに掲載しておりますので、ご確認いただければと思います。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	14	2	0	0		より丁寧にヒアリングさせて頂き、計画に反映させて頂きます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	2		お子様に必要な支援が届けられるよう心がけております。ご要望やご不明点などございましたらお声がけください。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1		支援を行う前に必ず計画を確認するようにしております。
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	1		一部必要性があり固定化することもございますが、いろいろな経験ができるように心がけております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	0	7		現在のところ実施しておりません。ご要望を伺った上で、実施を検討しようと考えております。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1	0	0		丁寧な説明を心がけてまいります。	

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	1	0	保護者と先生で支援計画の面談があると嬉しいです	半年に一度の個別支援計画更新時に保護者様との面談を実施しておりますが、今後は、お子様の状況や支援内容についてより丁寧に説明し、保護者様のご意見やご要望を十分にお伺いできる時間を確保してまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	4	1	4	ペアレントトレーニングに興味があるので受けてみたい	ペアレントトレーニングへのご関心をお寄せいただき、ありがとうございます。現在、個別でのご相談対応は随時行っておりますが、保護者様向けの研修会やペアレントトレーニングの実施については、今後の重要な課題として検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16	0	0	0		細かく情報共有やお困りごとなどをうかがえるよう、お話しする機会を設けております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	3	0	0		毎回支援の時にお話する機会を設けております。別途、面談等もご利用いただけますので、ご要望がございましたらご予約を承ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0		共感的な態度を心がけて支援しております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	1	6		企画検討が進まず、父母会の案内ができませんでした。ご迷惑をおかけいたしました。ごきょうだいの交流は企画しておりませんが、相談支援にて包括的なご家族の支援を行ってまいりました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	1		家族支援加算等で、ご相談など積極的にご利用いただけるように心がけております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0		SNSやお電話などを組み合わせて、ご利用者様に合った連絡方法で情報伝達できるよう工夫しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	4	0	6		ホームページやSNSなどで活動内容をご紹介しますが、なかなか更新できずご不便をおかけしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	3		当社の取り決めに従って、適切に個人情報を取り扱っております。個人情報同意書をご確認いただき、個人情報の取り扱いについて事前に説明しております
非常時等	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	0	5		定期的に訓練を実施しておりますので、周知いただけるように工夫を考えます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	8		月に1度防災訓練を実施しております。

守 の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1	0	4		今後も安全には十分に配慮して支援を実施していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	6		事故等が発生した場合は、速やかにご利用者様へ報告いたします。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	0		安心して活動できる場になるように心がけております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	1		皆様に楽しんで通って頂けるような事業所作りを心がけてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0		皆様にご満足いただける支援を提供できるよう努力いたします。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」センター南校					
				公表日	2025年 2月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		お子様の特性や状況に配慮して、居室の使い方を工夫しております。	室内は広々と開放感がある反面、動線や活動できる範囲を区分けすることが必要であると考えております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		保育所等訪問を併設して、包括的にご利用者をサポートする体制を取っております。	届け出通りの人員配置ではありますが、慌ただしく、増員できるとさらに安全で、ご利用者様により丁寧な関りができると考えます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		室内はフラットで、お子様用の段差のないトイレをご用意しております。	建物入口に段差がありご不便をおかけしておりますが、近隣の工事などの情報はいち早くご利用者様と共有しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃に加え、アルコール消毒や換気を徹底しています。	引き続き清潔で快適な環境の維持に努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		支援室の使い方を工夫したり、配置を考えてクールダウンできるようなスペースも確保できております。	時間帯によっては混雑することがあり、活動時間の調整などを工夫してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的な情報共有とケース検討会などで、支援内容の評価改善を行っています。	会議時間の確保が課題となっております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援の都度保護者様とお話する機会を設けており、情報共有やご意向を伺う機会にしています。	気兼ねなくご相談いただける事業所づくりを心がけてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の情報共有で、風通しの良い環境づくりを心がけております。	改善提案の優先順位付けと実行計画の明確化をさらに進めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		内部監査を行っておりますが、第三者による評価を行っておりません。	第三者による外部評価を活用していければと考えております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に内部研修に参加しております。外部研修にも参加できるよう情報収集や業務調整を行っております。	興味のあるテーマや要望に沿った研修機会を提供できるよう改善してまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し公表しております。	よりよい支援プログラムを考えてまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		手順通り適切に個別支援計画を作成しております。適宜見直ししたり、保護者さまとの面談や、通所支援の観察、保育所等訪問支援で得られたデータも活用して、多角的な視点で計画を作成しております。	今後も質の高い支援を提供できるよう、工夫してまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		幅広い意見を取り入れるよう心がけております。	今後も様々な視点から計画を作成できるよう努めます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援が行われております。	引き続き強化してまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたアセスメントや観察によって確認しております。	アセスメントやツールの標準化や質を向上していきたいと考えております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画には、お子様の支援に必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容が設定されております。	引き続き、運営基準の5領域を意識して支援計画や支援プログラムを提供させていただきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		各指導員の背景や資格を活かして活動プログラムを計画しております。指導員の資格や背景を活かしながら、チームで決定しております。	引き続き、チームの良さや個々の良さを活かして、利用者様にとってよりよい支援を提供したいと考えてまいります。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員が話し合って、活動プログラムを工夫しております。	お子様によっては固定化がよいケースもありますが、いろいろな経験ができるように工夫が必要だと考えております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われています。	検証と改善を繰り返し、よりよい支援を提供してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		状況によっては打合せの時間を取れませんので、連絡方法など工夫して連携しております。	可能な限り事前の打合せを行い、連携して支援を行います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援記録の確認や、共有事項は社内ツールにて情報共有を行える仕組みがございます。	打合せの時間を取ることが難しい状況もありますが、定期的に職員全員で行う会議を調整いたします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		丁寧に記録を取り、支援の検証・改善に役立てております。	引き続き徹底してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも6か月に1度以上計画を見直しております。	必要に応じて都度最新の情報を反映した計画を作成いたします。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		意識して計画を立て、支援を行っております。地域交流については、間接的な支援となっております。	最適な支援を提供できるよう計画を立案してまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		自己決定や自立を大きな目標に定めて、生きる力を身につけてられるような支援を心がけております。	引き続きお子様の成長につながる支援を提供してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		訪問支援や関係機関連携などで、インクルージョン推進の観点からも支援を行っております。	よりご利用者の役に立てるよう、理解を深め関係機関との連携や情報提供を行っていきたくと考えております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		ご要望に応じて移行先や行政サービスとも連携させて頂いております。	園や学校の方針もあり、必ずしもご利用者の要望に沿えないこともございますが、間接的な支援を行う場合もございます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターとの連携はございませんでした。	ぜひ連携させていただきたいと考えております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		ご要望がございましたら検討いたします。	改めてご利用者様のご要望を伺いたいと考えております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日ごろから保護者の皆様と情報共有をする文化が醸成されております。	より密に連携し、共通理解を深めてまいりたいと考えております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		外部研修の情報はSNSや室内掲示などでお知らせするようしております。	実施できておりませんが、企画、ご提案させて頂きたいと考えております。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約させて頂く際に、丁寧な説明を心がけております。	ご不明点等ご遠慮なくおっしゃっていただけるように環境を整えます。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時や個別支援計画を更新する際に、ご意向を伺っております。	いつでもご要望やご意見を伺えるような雰囲気づくりを心がけ、ご利用者様へも説明したいと考えております。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		丁寧な説明を行い、ご不明点がそのままにならないよう心がけております。	引き続き丁寧な説明を心がけてまいります。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援の様子をご覧頂いて説明したり、定期的にお話を伺う機会を設けております。	必要に応じて家族支援サービスなどをご提案する場合もございます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		ブログやInstagramを通じて、定期的に情報を発信しております。	内容をより充実させたり、更新頻度を上げるなどして、ご利用者様の安心感や満足度の向上につなげていければと考えております。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			弊社の取り決めに従って、十分留意して取り扱っております。	研修などに参加したり企画するなどして、情報を更新しながら意識を高めていきたいと考えております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			ブログやInstagramを通じて、情報を発信しております。	内容をより充実させたり、更新頻度を上げていく必要があると考えております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			当社の取り決めに従って取り扱っております。	今後とも取り決め通り慎重に取り扱うことをお約束いたします。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			ご利用者様一人一人に合った情報伝達手段を活用するように心がけております。	より迅速に正確に情報が伝達できるよう工夫を考えてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			ご利用に関して秘密性を重視されるご利用者様もいらっしゃいますので、地域交流などは実施しておりません。	ご要望がございましたら検討いたします。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			各種マニュアルを策定し、周知や研修を実施しております。	職員や家族等に周知して万全な体制を取ってまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			BCPを策定し、必要な訓練を実施しております。	引き続き徹底してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			お子様の状況は常にお知らせ頂けるように、保護者様と密にコミュニケーションを取っております。	素早く情報共有ができるような連絡体制を整備してまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			お子様の生活環境を把握するために、契約時に確認しております。	食事やおやつ等の提供はございませんが、配慮すべき事項として認識いたします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			必要な研修や訓練を行っております。	引き続き徹底してまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				安全計画を策定しておりますが、家族への周知を徹底してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			身体拘束の適正化については、子ども家庭庁のガイドラインに沿って運営し、必要な場合には必ず個別支援計画に記載するようにしております。	これまで身体拘束を適用するケースはありませんが、必要なケースを想定して対応を準備していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			対策も含めヒヤリハット事例を職員の間で共有して、再発防止に努めるとともに、支援や環境調整などにも活かせるように努めております。	より積極的にヒヤリハット事例を集められるよう工夫を考えてまいります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			虐待防止のために必要な研修に参加し、虐待防止に向けた対策を話し合っております。	引き続き徹底してまいります。	